

## 三菱ケミカルホールディングス 中間決算(連結)概要

(株)三菱ケミカルホールディングス

## 1. 業績(連結)

## 主要前提

	H18/9	H18/3	H17/9
為替レート	116 円 / 米 \$	111 円 / 米 \$	110 円 / 米 \$
ナフサ単価(国産)	51,500 円 / KL	42,350 円 / KL	37,900 円 / KL

## 損益計算書

(億円)

(参考)

	H18/9	H17/9	増減		期初予想 (5/11公表)	* 特別損益の主な内訳
			金額	率		
売上高	12,635	11,347	1,288	11.3%	12,600	投資有価証券売却益 45
営業利益	566	719	153	21.2%	560	固定資産売却益等 他 24
金融収支	21	19	2		20	固定資産整理損失等 11
その他営業外	19	28	9		10	関係会社整理損 10
持分法損益	81	63	18		70	その他 10
経常利益	645	791	146	18.4%	600	
特別損益	38	26	64		10	
税引前利益	683	765	82	10.8%	590	* 法人税等
法人税等	45	230	185		10	自己株式の取得に伴う税金費用の減少218億円を計上しております。
少数株主損益	19	74	55		20	
中間純利益	619	461	158	34.5%	580	

注) H17年9月期欄には、三菱化学(株)の前期連結決算数値を記載しております。

## セグメント別売上高(連結)

(億円)

	H18/9	H17/9	増減	
石化	5,961	5,041	920	原料ナフサ価格高騰及びPTA他製品市況上昇
機能商品	4,557	4,172	385	
機能化学	2,586	2,370	216	海外メディア及びディスプレイ関連増販
機能材料	1,971	1,802	169	樹脂加工増販、産業用途の増販
ヘルスケア	1,501	1,562	61	薬価基準改定により販売価格下落
その他	616	572	44	協和ビジネス社新規連結影響等
合計	12,635	11,347	1,288	

## セグメント別営業利益(連結)

(億円)

	H18/9	H17/9	増減	
石化	71	175	104	定期修理規模差あるもスプレッド縮小及びトラブル影響
機能商品	280	366	86	
機能化学	160	255	95	炭素の受払差及び輸出コークスのスプレッド縮小
機能材料	120	111	9	ポリエステルフィルム需要堅調、産業用途の増販
ヘルスケア	203	178	25	薬価基準改定影響あるも、販売管理費減及び主力医薬品増販
その他	48	45	3	前期並み
コーポレート	36	45	9	
合計	566	719	153	

注) 1 組織改正に伴い、機能化学・機能材料を合計して機能商品と表示しております。

2 従来のサービスセグメントに該当する事業をその他と表示しております。

3 組織改正に伴い、別表に記載の通り一部事業・子会社の所属セグメントを変更しており、前年実績値も組替えております。

## 2. 財政状態

比較貸借対照表

(億円)

	H18/9末	H18/3末	増減
流動資産	10,870	9,884	986
固定資産	7,251	7,088	163
投融資等	3,998	4,294	296
資産計	22,119	21,266	853
流動負債	9,603	8,912	691
固定負債	5,074	5,104	30
純資産	7,442	7,250	192
(うち自己資本)	(6,756)	(6,560)	(196)
負債・純資産計	22,119	21,266	853
自己資本比率	30.5%	30.9%	0.4%
有利子負債(含割手)	6,857	6,399	458
D/Eレシオ	1.01	0.98	0.03

総資産の増加は、主に期末休日影響や原料価格の高騰により営業債権・たな卸資産が、設備投資により固定資産が、増加したことによるものです。  
負債の増加は、主にコマーシャルペーパー・借入金を中心とした有利子負債の増加によるものです。

連結子会社からの自己株式の取得に伴い、連結子会社にて発生した株式譲渡益に対する法人税等221億円を、自己株式処分差損として処理したことにより、純資産の「その他資本剰余金」が減少しております。

注) 自己資本: 純資産 - 少数株主持分 - 新株予約権  
D/Eレシオ = 有利子負債(含割手) / 自己資本

キャッシュ・フロー

(億円)

	H18/9	H17/9
営業活動によるCF	201	805
投資活動によるCF	509	179
フリー・キャッシュ・フロー	308	626
財務活動によるCF	325	430
(うち配当金の支払)	(110)	(130)

〔期末休日による営業債権増加影響(391億円)、  
たな卸資産増加(223億円)他  
設備投資増加  
有利子負債(除手形)増加 +456

## 3. 通期業績予想(連結)

(億円)

	H19/3(予想)	H18/3	増減
売上高	26,000	24,089	1,911
営業利益	1,270	1,336	66
金融収支	60	50	10
その他営業外	5	21	16
持分法損益	135	129	6
経常利益	1,350	1,436	86
特別損益	20	285	265
税引前利益	1,330	1,151	179
法人税等	310	203	107
少数株主損益	40	92	52
当期純利益	980	856	124
	H19/3(予想)	H18/3	
為替レート	115	111	円/米\$
ナフサ単価(国産)	50,800	42,350	円/KL

(参考)

期初予想 (5/11公表)
26,000
1,360
65
15
130
1,410
50
1,360
300
60
1,000

## セグメント別売上高予想(連結)

(億円)

	売上高		
	H19/3(予想)	H18/3	増減
石化	12,310	10,873	1,437
機能商品	9,090	8,747	343
機能化学	5,210	5,015	195
機能材料	3,880	3,732	148
ヘルスケア	3,060	3,126	66
その他	1,540	1,343	197
合計	26,000	24,089	1,911

原料ナフサ価格高騰他  
記録メディアなど情報電子関連増販  
ポリエステルフィルム増販他  
薬価基準改定影響  
協和ビジネス社新規連結影響等

## セグメント別営業利益予想(連結)

(億円)

	営業利益		
	H19/3(予想)	H18/3	増減
石化	230	337	107
機能商品	630	658	28
機能化学	370	430	60
機能材料	260	228	32
ヘルスケア	410	362	48
その他	90	90	0
コーポレート	90	111	21
合計	1,270	1,336	66

〔定規模差あるも、受払差縮小・ユーティリティ価格上昇・  
トラブル影響及び売買スプレッド縮小  
情報電子関連増販も炭素受払差縮小  
樹脂加工製品増販及びコストオフ活動、産業用途増販  
薬価基準改定影響あるも、医薬品増販及び販管費減  
退職給付関連費用減少

注) 組織改正に伴い、別表に記載の通り前年実績値を組替えております。

#### 4. 配当の状況

		H19/3(予想)	H18/3	増減
1株当たり配当	中間	7円	注1) 実質6円	1円
	期末	7円	8円	1円
	合計	14円	14円	-
1株当たり当期純利益	期末	71.54円	69.51円	2.03円
配当性向(連結)	配当	19.6%	20.1%	0.5%

注) 前年同中間期(平成17年9月中間期)の中間配当につきましては、三菱化学㈱の1株当たり配当額3円を当社株式1株当たり配当額に換算したものを記載しております。  
(株式割当比率:三菱化学㈱株式1株につき当社株式0.5株)

#### 5. 業績(単独)

損益(単独)		(億円)		参考 (億円)	
		H18/9	H19/3(予想)	H18/3	
営業収益		223	368	15	* H18/9、H19/3(予想)の税金費用について
経常利益		211	338	1	自己株式の取得に伴う税金費用の減少218億円を
中間純利益		429	557	1	計上しております。

注) H18/3はH17/10/3～H18/3/31

#### 6. その他

連結範囲		(会社数)			主要新規会社名	主要除外会社名
		H18/9	H18/3	増減		
連結子会社		174	168	6		
国内		105	103	2	(株)協和ビジネス 他2社	九州メディカルサイエンス㈱
海外		69	65	4	マイテックス・ポリマーズ社 他3社	
持分法適用会社		76	83	7	無錫積菱塑料社	東和コンパウンディング 他7社
合計		250	251	1		

設備投資額・減価償却費・研究開発費(連結)		(億円)			
		H19/3(予想)	H18/9	H18/3	H17/9
設備投資額		1,400	610	979	439
減価償却費		850	396	882	408
研究開発費		930	425	896	437

(別表) 前年実績値は、組織改正に伴い以下の通り組替えて記載しております。

	新	旧	前年同中間期(H17/9)組替額		前年度(H18/3)組替額	
			売上高	営業利益	売上高	営業利益
機能性樹脂事業	石化	機能化学	64	7	138	12
医薬中間体事業	ヘルスケア	機能化学	151	11	326	22
UTT事業	石化	その他(サービス)	84	11	190	15

#### 7. トピックス

##### プラント新增設

##### (石化)

- 三菱化学㈱が、黒崎事業所(福岡県北九州市)において、ポリカーボネート樹脂製造設備の増設(年産6万トン)、及び中間原料であるジフェニルカーボネート製造設備の増設(年産10万トン)を決定。(4月)
- 三菱化学㈱が、水島事業所(岡山県倉敷市)において、オレフィン・アロマセンター競争力強化のための原料多様化対応設備設置を決定。(4月)

##### (機能商品)

- 三菱化学㈱が、四日市事業所(三重県四日市市)において重合トナーの本格生産設備の稼働を開始。(6月)
- 三菱化学ポリエステルフィルム㈱が、滋賀事業所(滋賀県米原市)において、工業用フィルム新ラインの稼働を開始。(7月)

##### 事業提携・再編等

##### (石化)

- 三菱化学㈱が、エクソンモービルケミカル社との間でポリプロピレン樹脂コンパウンド製造販売会社マイテックス・ポリマーズ・ジェネラル・パートナーシップ社(米国インディアナ州)、及びマイテックス・ポリマーズ・アジア・パシフィック社(シンガポール)における同社の株式所有分を買い取り、三菱化学㈱100%出資にすることで合意。(5月)
- 三菱化学㈱が、住友ベークライト㈱との間でアプロ㈱の同社株式所有分を買い取り、三菱化学の直接・間接出資を含め100%出資にすることで合意。(9月)

##### (機能商品)

- 三菱化学フーズ㈱が、三共ライフテック㈱との間で、食品添加物・医薬原料事業を同社から譲り受けることに合意。(9月)

##### (ヘルスケア)

- 三菱ウェルファーマ㈱が、本年10月を目途に、中国・北京市に医薬品開発を目的とした新会社を設立することを決定。(5月)
- 三菱ウェルファーマ㈱を中心とする当社グループが、米国・マサチューセッツ州ボストンに将来の画期的新薬の創製に向けた創薬ターゲットやそのために必要な技術の提携および導入を目的として、創成期のバイオベンチャー企業に投資を行なう新会社を設立。(8月)

##### (その他の部門)

- 三菱化学㈱と㈱三菱化学科学技術研究センターが、ユニバーサルディスプレイコーポレーション(米国ニュージャージー州)と共同で、塗布型リン光有機EL材料を開発することに合意。(5月)
- 当社の連結子会社である三菱化学㈱及び三菱ウェルファーマ㈱から、当社株式を取得。(9月)